

令和
元年

至誠館大学公開授業

(集中講義15講)

受講料無料

「日本近代黎明史Ⅰ」の受講生募集

日時: 9月2日(月) 8:50~17:35
9月4日(水) 8:50~17:35
9月5日(木) 8:50~17:35

場所: 至誠館大学1号館102教室

至誠館大学吉田松陰研究所の野村興児所長(学長)と三宅紹宣副所長(広島大学名誉教授)が講師の公開授業(集中講義)「日本近代黎明史Ⅰ」を開講します。

至誠館大学吉田松陰研究所は明治維新150年記念として、平成30年5月23日に開設し、明治維新の原動力となった多くの人材を育てた教育者である吉田松陰に関する調査・研究を行っております。



所長 野村 興児 (至誠館大学長)

野村所長は、松下村塾が「明治日本の産業革命遺産」としてユネスコの世界遺産に登録された理由、経緯について、6回講義します。



副所長 三宅 紹宣 (広島大学名誉教授)

三宅副所長は、幕藩体制から、明治新政府確立の過程を海外動向や国内の天保の一揆等の社会騒動を折り混ぜながら、時系列を追って、詳細に論を展開します。そして、近代化諸施策の新展開、国際情勢の変化と日清・日露の戦争に至るまで、9回講義します。

*裏面「日本近代黎明史Ⅰ」講義時間割をご覧ください。

至誠館大学公開授業「日本近代黎明史 I」

日 時		講 師	回 数	内 容
9月2日	月曜日	野村興児	野村1講	アヘン戦争以降の欧米のアジア進出脅威に兵学者の立場からの吉田松陰の対応について
		野村興児	野村2講	獄に収監され、自らの行動が制約された吉田松陰は、自分の思いを若い世代に託すべく教育に専心するが、その概要について
		三宅紹宣	三宅1講	対外的危機の発生と経済発展段階について(19世紀の世界情勢、アヘン戦争と日本への影響、対外防備と羽賀台大操練、江戸時代後期の経済発展段階を中心に国際的視点から講義する)
		三宅紹宣	三宅2講	開国の影響と政治変動について(ペリー来航と開国をめぐる政治変動、尊王攘夷運動と吉田松陰を中心に講義する)
		三宅紹宣	三宅3講	尊王攘夷運動の高揚と第一次長州出兵について(貿易開始の影響、尊王攘夷運動の高揚、長州藩の攘夷決行から八月十八日政変、禁門の変、第一次長州出兵の過程を中心に講義する)
9月4日	水曜日	野村興児	野村3講	吉田松陰の遺志を継ぎ、松下村塾の塾生の各分野での活躍について
		野村興児	野村4講	長州ファイブの果たした役割、功績について
		三宅紹宣	三宅4講	幕長(長州、四境)戦争について(長州藩の抗幕政権の成立と政治・軍事改革、薩長同盟、幕長戦争の経過について総合的に講義する)
		三宅紹宣	三宅5講	幕府の倒壊と明治政府の成立について(討幕運動と大政奉還、王政復古政変、戊辰戦争、五箇条誓文、版籍奉還、廃藩置県を中心に講義する)
		三宅紹宣	三宅6講	近代化諸政策について(地租改正、徴兵令、学制を中心に講義する)
9月5日	木曜日	三宅紹宣	三宅7講	自由民権運動と明治立憲体制について(自由民権運動、伊藤博文の憲法調査、大日本帝国(明治)憲法とその特質を中心に講義する)
		三宅紹宣	三宅8講	日清・日露戦争について(明治初期の対外関係、日清戦争、下関条約、三国干渉、日英同盟、日露戦争、ポーツマス条約を中心に講義する)
		三宅紹宣	三宅9講	産業革命と生活の変化について(工部省の創設と殖産興業、産業革命、生活の変化を中心に講義する)
		野村興児	野村5講	工部省、工部大学の創設は産業革命に伴う欧米の産業技術の本格化に大きく貢献
		野村興児	野村6講	明治維新は日本の近代化に大きなインパクトを与えて来たが中でも、産業革命後の欧米の技術移転に果たした工学教育の役割は特筆すべき